市政広報

第 9 号

昭和31年4月25日発行

富士市平垣279番地
発行所 富士市役所
発行人 富士市長
印刷所 加藤印刷所

憲法記念日

五月三日

今年も五月三日の憲法記念日を迎えることとなりました。御存じの通りこの記念日は、九年前の昭和二十二年五月三日、現行日本国憲法が施行されたことを記念して毎年行われているわが国の重要な記念行事の一つであります。

憲法が、他のあらゆる法律や政治の土台となる国家の最高の法律であることは今更贅言を要しませんが、同時に憲法は国家が国家を作り上げている私たち国民一人一人の権利や自由を保障し、その生活を守らなければならないことを定めた尊い法律であります。

民主々義が国家社会を構成する国民の存在や価値を重視するものであることは明白でありますが、その目的は基本的人権の尊重という一つの原則となつて日本国憲法に表明されているのであります。

即ち「国民の権利及び義務」という第三章で、日本国憲法はすべての人間が生命、自由、幸福追求に関する基本的な権利をもち、何らの差別もなく法律の保護を受けるべきであること、選挙権、生存権は平等に与えられていること、言論、信教、思想、集会、結社、居住、移転、職業選択等の自由をすべての国民に保障すること、個人の身体や行動の自由が国家の権力を直接発動する警察官や税務署員等のために理由の無い不当な拘束を受けることがないこと、また国家公務員や地方公務員等のために不法な行政処分などを受けた場合には国民は損害の賠償を求めるみちが拓けていること等、多くの規定を設けているのがそれであります。

こうして憲法は、国民が人間として生れながらに持つている基本的な権利や、当然の自由を保障し擁護することに最大の意を用いて国家の根本目的である民主々義の確立を期しているものであります。

私たちは、憲法記念日に当り、憲法に保障されている基本的人権の尊さを改めて認識し、権利や自由に内在する制約を正しく理解し私たちの生活に直結する基本的人権を不断の努力によつて保持する心構を新たにしなければなりません。

法務局や各市町村に設置されている人権擁護委員は、国民の人権が侵されたときこれを救済、回復したり、一般的な人権思想の普及高揚を図ることを仕事とする機関であります。もちろん、私たちは基本的人権を各人自からの努力で護らなければなりませんが、一人の力ではどうにもならないようなときは、法務局や人権擁護委員に進んで訴えて、侵害を排除し、権利と自由の維持された明るい幸福な社会を営んでゆきましょう。

私たちの市の人権擁護委員は

平垣　加藤玉英
岩本　加藤通温

であります。

今年度の上水道計画

今年の冬は曾てない異状渇水で井戸が枯れ、日常の生活に御不自由なさつたことゝ存じます。当局といたしましては、湯沢の水源に水のある限り、予算の許す限りに於きまして、配水管を布設延長し要望に応えて参りましたが、湯沢の水源も殆ど限界に達してしまいましたので、今後の給水は新たに水源を求める外はない状態であります。

そこで今三十一年度に於きましては先ず以て、根田に掘さくした深井による水源設備を築造いたしまして、此処から配水本管を富士驛南水戸島（江正堂薬局）まで布設し管路の系統により順次沿線部落と駅南部落に配水管の支派線を布設し約一、五〇〇戸に給水しようとする計画で、この布設費は七、三〇〇余万円を要するのであります。

然し御承知のように、水道布設費の殆ど總べてが政府資金の融資に依存して居るので、之が成否は一つに市債がどの程度獲得出来るか如何に懸つて居りますので、当局は勿論市議会も最善の努力を傾注する所存ではありますが、市民の皆様も是非御協力を御願い致す次第であります。

前にも御願い申上げましたが、各家庭への給水引込費用は皆さんの負担になりますので一戸一〇、〇〇〇円位を目標に水道貯金をなさつていただき度いことを重て御奨め申上げます。

（水道課）

昭和31年度富士市予算總括表

一般会計

歳入 款別	予算額	%	歳出 款別	予算額	%
市税	143,940,000	67	議会費	4,153,000	2
地方交付税	5,000,000	2	市役所費	47,042,100	22
公営企業及び財産収入	4,837,000	2	消防費	4,081,300	2
使用料及び手数料	3,775,800	2	土木費	49,784,000	23
国庫支出金	17,989,850	8	教育費	24,823,400	12
県支出金	3,361,000	2	社会及び労働施設費	28,337,800	13
寄附金	1,000	0	保健衛生費	13,402,300	6
繰入金	5,200,000	3	産業経済費	15,178,800	7
繰越金	6,000,000	3	財産費	3,837,300	2
雑収入	5,052,550	2	統計費	311,000	0
市債	20,000,000	9	選挙費	728,000	0
			公債費	6,289,200	3
			諸支出金	16,639,000	8
			予備費	500,000	0
合計	215,157,200	100	合計	215,157,200	100

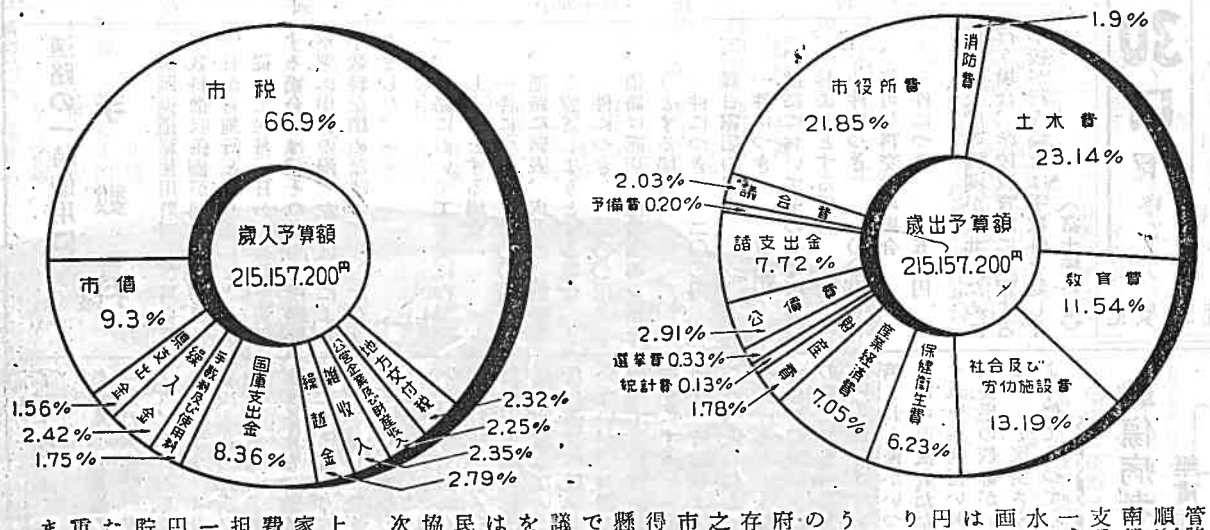
特別会計

富士市水道事業	83,170,000
富士市公益質屋	4,074,888
富士市中央病院	62,900,000
合計	150,144,888
一般会計 特別会計 総額	365,302,088

参議員選挙が近付きました

貴方は選挙人名簿に登載されておりますか選挙人名簿は、毎年作り直すものですから一度調べてみて下さい。

昭和31年度一般会計当初予算（百分比）



米之宮公園はつつじが満開

昨年つゝじ五百本の植込みを終り總計一千本のつゝじが、築山に参道に今を盛りと咲き誇つて皆様のおいでをお待しています。

ロータリーには、桜の花が散つたあと松葉牡丹や、サルビアの芽が吹き出しました。

又西側川ぞいに玉石堤を築き、公園に美観をそえています。

この堤のそばに、本月十五日、富士市ボーイスカウトの奉仕による桜が、植樹祭記念として植えられました。

昨年は植込みの草木を心なき人々によつて損われた事もありましたが、本市場地区小中学生による雑草の除草や、日曜日毎の清掃奉仕等の美挙もありました。

どうか皆様のお互いの注意によつて、一本も一草も損はないようにいたしましょう。（商工課）

驛前に観光案内板を

「富士五湖めぐり」は富士市からをモットーに観光客誘致に力を注いでいる当協会では、かねて、静岡鉄道管理局長に、駅前観光案内板設置許可を申請中でありましたが、この程、正式許可があつたので目下作製中で今月中には観光の方々の目をたのしませる事が出来ると思います。

（富士市観光協会）

こどもの日

「国民の祝日に関する法律」の中に、五月五日を「こどもの日」とすることが定めてあり「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福をはかるとともに、母に感謝する」日と説明されています。このような目的で定められた日です。日本国民によつて真に生かされることを祈ります。

又昭和二十六年五月五日に制定された児童憲章は、十二項から成っていますが、その冒頭の中に

児童は、人として尊ばれる。
児童は、社会の一員として重んぜられる。

児童は、よい環境のなかで育てられる。

と記されています。親から見ても大切な児童、家庭から見ても、社会から見ても、国から見ても極めて大切な児童ですが、子供自身からいつても、重大な使命を帯びて生れてきた児童です。親も、其の他の家庭の人も、社会の人たちも国も本気で児童を大切にすることを祈念します。（教育委員会）

計量器（はかり等）定期検査

計量器の定期検査は、取引上又は証明上に使用する計量器について、計量法の定めるところにより毎年一回実施することゝなつております。

つきましては、この定期検査の事前調査を四月十六日より検査日前日まで各戸にうかがい、下調査をいたしておりますので御承知下さい。

なお、この計量器の定期検査により不正の計量器は修繕し、その正確性を保持せしめて計量法に違反することを未然に防止するのがこの法律の精神であるので、事前調査による調査洩れの場合でも、計量器所持者は進んで最寄りの検査場に、計量器を持参して検査をうけて下さい。

◇四月二十三日　岩松小学校
四ッ家、浦町、林町、新町、橋下、四丁河原、水神
◇四月二十四日　岩松小学校
上町、下中、上中、瀬戸河原、東田、旭町、滝戸
◇四月二十五日　第二小学校
南本田、水戸島下、森島、宮下
◇四月二十六日　第二小学校
上横割、十兵衛南北、下横割南北、水戸島中
◇四月二十七日　田子、〇一
新田助六、三四軒屋、新浜、中丸、小須、田子、鮫島、前田新田
◇四月二十八日　田子浦支所
柳島、川成島、東宮島、西宮島、上下五貫島、前田
◇四月二十九日　富士市役所
高島、藤間、川原宿、塔の木、五味島、水戸島上
◇四月三十日　富士市役所
本市場、国久、平垣全部
◇五月一日　富士市役所
本市場新田、松本、中島全区、柚木
◇五月二日　富士市役所
本町、中町

（受付時間）
毎日午前九時より午後一時まで

出議案十四件、第一日は一般会計昭和三十一年度予算、特別会計の病院、水道、質屋の各予算案のみを上提し、市長は別掲の如き昭和

課がこの様な仕事をする場合にはあらかじめ区長さんや指導員を通じて連絡をいたしますから御承知置き下さい。

なり特に冠婚葬祭の如きは華美に流れて参りました。そこで此の度、新に浜運動の一端として当岩松地区におきまして、

（略）
み。）
◎歳末たすけ合い資金として、金一五、〇〇〇円　富士新聞社長殿
畑一郎殿
へ、金一〇、〇〇〇円　東宮島漆

い。
二　布団は三枚一組のものとする。

戸籍課又は支所へ

、飯山安子。柚木、林むつ子。本町四、市川悦孝。中島、深沢幸子